

## ご使用になる前に必ずお読みください

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に必ず、次の指示と「安全にお使いいただくために」をよくお読みの上、本機を正しくお使いください。また、本書をお読みになった後は、いつでも見られるように大切に保管してください。

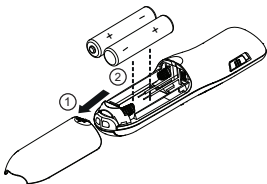
本機は、Windows® および Macintosh の各 OS (オペレーティングシステム) に対応しています。

- プレゼンター機能を使用する前に、使用するソフトウェアに合わせて本機左横の電源/プレゼンターモードスイッチを正しく設定してください。設定が不適切な場合、正しく動作しないことがあります。
- 本機ご使用前に、USB レシーバーをお使いのパソコンに接続してください。

## ご使用前の設定

### 電池を交換する

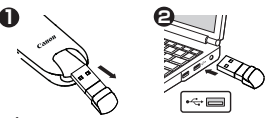
- ① 本体裏面の電池ふたを矢印の方向に押しながら外します。
- ② 極性 (+, -) を間違えないように注意し、電池ケースに単 4 形乾電池 2 本を入れてから電池ふたをもとの位置に戻します。



- **警告** 電池を交換する際は、小さなお子様が誤って電池を口に入れないように手の届かない場所で行ってください。万一、飲み込んだ場合はただちに医師にご相談ください。
- **注意** 使用済みの電池は (+) 極 (-) 極をテープで絶縁してからお住まいの地方自治体の条例に従って廃棄してください。
- 電池の極性 (+, -) を間違えないように入れてください。電池の極性を間違えて入れると事故の原因となります。
- 本機で使用できる電池は単 4 形乾電池です。交換の際も同じ種類のものをご使用ください。
- 液もれなどによる故障を防ぐため、長時間使用しないときや電池を使い切ったときは電池を取り出してください。

### USBレシーバーを接続する

- ① 本体表側から USB レシーバーを取り出します。
  - ② お使いのパソコンの USB ポートに USB レシーバーを接続します。(ソフトウェアのインストールは不要です。)
- ※ Mac に接続し「キーボード設定アシスタント」画面が開いたときは指示された操作はせずにそのまま閉じてください。
- ③ 電源/プレゼンターモードスイッチを、使用するソフトウェアに合わせて「Keynote」または「PowerPoint」に合わせます。
  - ④ 接続を開始します。接続確立中は ●) が点滅し、接続が確立されると点滅が止まります。



### 使い方のヒント

- 本機をパソコンと接続する前に、必ずパソコン内のデータのバックアップをお取りください。
- パソコンと本機の間で接続がうまくいかないときは次の手順をお試しください。
  - (1) USB レシーバーをパソコンから取り外し、再度 USB ポートに接続します。
  - (2) 電源/プレゼンターモードスイッチの位置を「Keynote」または「PowerPoint」に動かします。
  - (3) (1)(2)を試してもうまくいかないときは、以下の手順で接続を再度行ってください。
    - (a) USB レシーバーをパソコンから取り外します。
    - (b) TIMER と を同時に 3 秒以上長押しします。
    - (c) LCD 表示部に「PP」が表示されたら USB レシーバーを再度 USB ポートに接続します。「PP」は接続が確立されると消えます。
    - (d) 手順 (c) で約 1 分経っても接続が確立できないときは (a) から (c) の手順を再度行ってください。
- 他のパソコンで本機を使用する場合は、再度 USB レシーバーの接続を行ってください。
- パソコンとの接続には乾電池からの電源供給が必要です。
- 本機の使用が終了したら、パソコンから USB レシーバーを取り外し、本体表側の所定の場所に戻してください。

## 安全にお使いいただくために

この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

**警告** 取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

- 本体には磁石が内蔵されています。(外側からは見えません。)心臓ペースメーカー等の医療機器を装着されている方は、本体を装着部から十分離して使用してください。磁気が医療機器の誤動作の原因になることがあります。万一、身体の異常が回復しない場合、直ちに専門医の診察を受けてください。
- 落としたり、ぶつけたり、異臭がするなどの異常が発生した場合はキャノンお客様相談センターにご連絡ください。
- 万一、表示画面が破損して中の液晶(液体)が漏れた場合は、絶対に触れないでください。万一本体が破損した場合はキャノンお客様相談センターにご連絡ください。
- 本機を分解したり、改造しないでください。火災や感電の原因になります。
- 航空機内・病院でのワイヤレス製品使用について 航空機内での無線機器の使用は、計器に悪影響を及ぼす可能性があるため禁止されています。機内での本機の使用は避け、機内に持ち込むときは電源をお切りください。
- 病院など、電波機器の使用が禁止されている場所で本機を使用しないでください。本機の発する電波により、医療機器に影響を及ぼす恐れがあります。
- 小さなお子様の手が届かないように管理、使用してください。
- 絶対にレーザー光を覗き込んだり、人に向けたりしないでください。
- レーザー光を絶対に目に照射しないでください。
- レーザー光を鏡などに照射すると、反射光で目を傷める恐れがあります。
- 本説明書に記載されている以外の操作、修正は、危険な放射被ばくをもたらす可能性がありますのでおやめください。

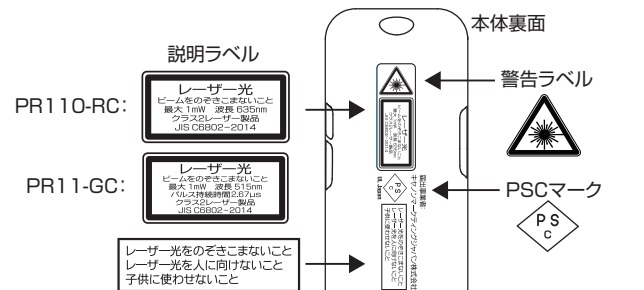
**注意** 取扱いを誤った場合に、障害を負う恐れのある内容が書かれています。必ずこの注意事項をお守りください。

- マグネットには磁石類を使用していますので、本機を鉄粉の多いところに置いたり、キャッシュカードなど、磁気で記録されるものに近づけないでください。
- 湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 本機の上には重いものを載せないでください。置いたものが倒れたり、落下して怪我の原因になることがあります。
- 本機の内部に、水や液体、異物(金片)が入ると、火災や感電の原因になることがあります。その場合は、キャノンお客様相談センターにご連絡ください。

## レーザーの安全基準

本機はJIS『レーザー製品の放射安全基準C6802 クラス2 レーザー装置』に該当します。また、本機は「消費生活用製品安全法(PSC)」に適合しているため、安心してご使用いただけます。

クラス2レーザー装置	レーザー光出力
PR110-RC	PR111-GC
最大出力 : <1mW	<1mW
レーザー波長 : 635nm	515nm
レーザー光の種類 : 持続波	パルス
ビームの開き : $\alpha = 1.5 \text{ mrad}$	$\alpha = 1.5 \text{ mrad}$
ビーム径(最大) : 約8mm(距離5m時)	約17mm(距離15m時)
パルス持続時間 : なし	2.67 $\mu$ s
繰り返し率 : なし	30kHz



## 仕様

型式	: キヤノン「PR110-RC」、「PR11-GC」
電源	: 単4形アルカリ乾電池×2本
推奨使用温度	: 0℃～40℃
外形寸法	: 136 mm(奥行)×33 mm(幅)×26 mm(高さ)
重量	: 43g(電池をのぞく)/ 65g(電池を含む)
付属品	: USBレシーバー(D30A)、純正ポーチケース、単4形乾電池×2本

- ※型式の記載がないものは両型式に共通の仕様です。
- 改良のため、予告なく仕様の変更を行うことがあります。

## ワイヤレス仕様

周波数	: 2.4GHz
動作距離	: 最大30メートル(PR110-RC、PR11-GCともに)

- 接続範囲は、近くに金属物がある場合や、本体とUSBレシーバーの相対位置などにより変化する場合があります。(近くに金属物があると通信距離が短くなる場合があります。)
- 本機とパソコンの間の通信には2.4GHzの周波数を使用しています。本機の近くで同じ周波数の製品をご使用になると、本機が正しく動作しない場合があります。

## 動作環境

- パソコン
  - 次の対応OSがプレインストールされているIBM PC/AT互換(DOS/V)機/Macintosh
  - 本体にUSB 2.0 ポートを装備しているもの
- 対応OS
  - Windows Vista® (SP2以上)、Windows® 7、Windows® 8、Windows® 8.1、Windows® 10、Mac OS X 10.5 ~ 10.11、macOS 10.12
- 対応ソフトウェア
  - PowerPoint® 2003、2007、2010、2013、2016
  - PowerPoint® for Mac 2011、2016
  - Mac 用 Keynote 6.5、6.6、7.0
  - Adobe® Reader® 11、DC for Windows® #
  - プレビュー 4.2 ~ 9.0 #
- #: スライドショー開始・終了機能はご利用いただけません。
- その他、Windows Vista® (SP2以上)、Windows® 7、Windows® 8、Windows® 8.1、Windows® 10、Mac OS X 10.5 ~ 10.11、macOS 10.12 が推奨する動作環境に準拠。
- 機器の構成により正常に動作しない場合があります。
- 上記以外のOSをご使用の場合は、動作しません。
- 以前のOSからアップグレードしたパソコンでの動作保障は致しません。
- 最新のOS、ソフトウェア対応状況はキャノンホームページ(canon.jp/laserpointer) よりご確認ください。

## お問い合わせ窓口

### キャノンお客様相談センター

(全国共通番号) 050-555-90025

[受付時間] 平日・土 9:00 ~ 17:00

休業日: 日・祝日、1月1日~3日、12月31日

※上記番号をご利用頂けない場合は、043-211-9632をご利用ください。

※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。  
※上記記載内容は、都合により予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

2021年9月現在

### キャノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6 お問い合わせ先 050-555-90025

© CANON ELECTRONIC BUSINESS MACHINES (H.K.) CO., LTD. 2021 PRINTED IN CHINA

# Canon

## PR110-RC PR11-GC



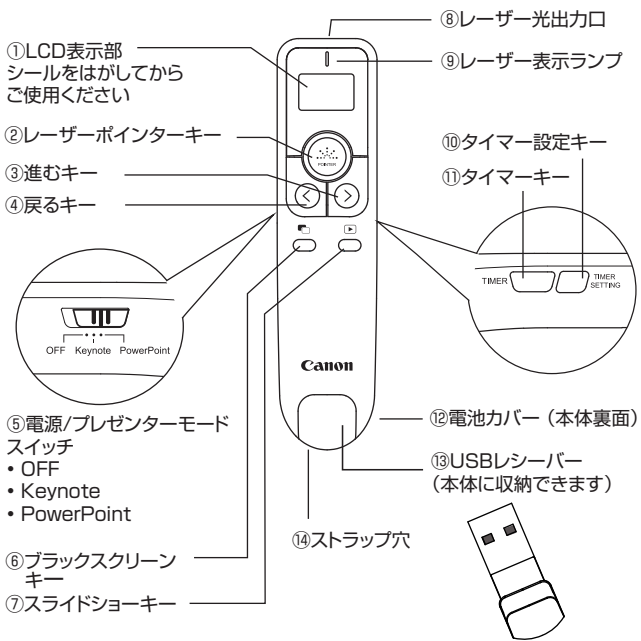
E-IJ-1429

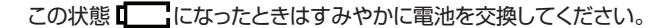
使用説明書

本機を廃棄する際は、地方自治体の条例に従って処理をするようお願い致します。詳しくは各地方自治体にお問い合わせください。

## 各部の名称

### 本機



①LCD表示部  
初めで使用するときにはLCD表示部のシールをはがしてからご使用下さい。  
接続やタイマーの状態を表示します。バッテリーインジケーターがこの状態  になったときはすみやかに電池を交換してください。

②レーザーポインターキー  
プレゼンテーションなどで、このキーを押して指し示したり強調したい箇所にレーザーを当てます。

③進むキー / ④戻るキー  
プレゼンテーションでスライドショー実行中に、この2つのキーで前後のスライドを表示します。タイマー設定では、LCD表示部の点灯設定や時間を設定する時に使用します。

⑤電源 / プレゼンターモードスイッチ  
電源のオンオフや、プレゼンター機能で使用するソフトウェアを設定するときには使用します。電源オンしたときは、現在の設定がLCD表示部に表示されます。

⑥ブラックスクリーンキー  
プレゼンテーション機能使用中に、ブラックスクリーンとスライド表示を切替えたいときに使用します。

⑦スライドショーキー  
スライドショーを開始するときや終了するときに使用します。

⑧レーザー光出力口  
⑨レーザー表示ランプ  
レーザーポインターキーを押している間点灯します。

⑩タイマー設定キー  
タイマーを設定するときには使用します。設定中にもう一度押すとタイマー設定を終了します。使用中にLCD表示部とバックライトが消えたとき、再度点灯させるときにも使用します。


⑪タイマーキー  
タイマーの開始や一時停止をするときに使用します。2秒以上長押しするとタイマーをリセットすることができます。使用中にLCD表示部とバックライトが消えたとき、再度点灯させるときにも使用します。


⑫電池カバー (本体裏面)  
⑬USBレシーバー  
使わないときは本体表側に収納できます。



⑭ストラップ穴  
ストラップをつけてお使いください。手首につけて落下するのを防ぎます。(ストラップはパッケージに含まれていません。)




### アイコン (①LCD表示部)

●) 本機とパソコンの接続確立中に点滅します。接続が確立すると点滅が止まります。

 LCD表示部の点灯設定：オフ(節電モード)  
このアイコンが表示されているとき、タイマー作動中一定の時間が経過するとLCD表示部が《薄暗い》状態になります。さらに一定の時間が経過すると《真っ暗》になります。電池の消耗を防ぎます。

 LCD表示部の点灯設定：オン  
このアイコンが表示されているときは、タイマー作動中一定の時間が経過してもLCD表示部は《薄暗い》ままです。

 タイマーアイコン  
カウントダウンのとき表示されます。  
 カウントアップのとき表示されます。

 バッテリーインジケーター(電池残量表示)  
目盛が4段階に変化し電池残量をお知らせします。バッテリーインジケーターの目盛がなくなったときはすみやかに電池を交換してください。レーザーポインター機能が正しく動作しないことがあります。また、電池残量が不足していると本機はパソコンと接続することができません。  
 (1つ)または  (ない)のとき、キー操作をするとバッテリーインジケーターアイコンが点灯します。

## プレゼンター機能を使う

### ■ 設定


プレゼンター機能を使うときは、本体左横の電源 / プレゼンターモードスイッチを使用するソフトウェアに合わせて「Keynote」または「PowerPoint」に正しく設定してください。設定が不適切な場合、正しく動作しないことがあります。

### ■ 使用できるソフトウェア

プレゼンターモードスイッチを「Keynote」に合わせたとき：  
Mac 用 Keynote  
プレゼンターモードスイッチを「PowerPoint」に合わせたとき：  
PowerPoint<sup>®</sup>、PowerPoint<sup>®</sup> for Mac

• Adobe<sup>®</sup> Reader<sup>®</sup> for Windows<sup>®</sup> と プレビューは、プレゼンターモードスイッチをどちらに合わせたも使用できます。

### ■ スライドショーを実行する

 を押してスライドショーを開始します。もう一度押すとスライドショーを終了します。


• Adobe<sup>®</sup> Reader<sup>®</sup> とプレビューでは、スライドショー開始・終了機能がご利用いただけません。スライドショーを開始、終了したいときは、パソコンで操作をしてください。

### ■ スライドショー実行中にスライド間を移動する

 (進む)：次のスライドを表示します。

 (戻る)：前のスライドを表示します。

### ■ ブラックスクリーン


 を押してパソコンの画面をブラックスクリーン(真っ黒な状態)にすることができます。もう一度押すと元の画面に戻ります。

• Adobe<sup>®</sup> Reader<sup>®</sup> とプレビューはブラックスクリーンに対応していません。

## レーザーポインター機能を使う

### ■ レーザーポインターを使う


1) 本体左横の電源 / プレゼンターモードスイッチを「Keynote」または「PowerPoint」に動かし電源を入れます。

2) レーザー光出力口(⑧)を指し示したい方へ向け、 を押します。レーザーポインターキーを押している間はレーザー表示ランプ(⑨)が点灯します。


## タイマーを使う



### ■ タイマー時間とLCD表示部の点灯状態を設定する



(1) 本体左横の電源 / プレゼンターモードスイッチを「Keynote」または「PowerPoint」に動かし電源を入れます。

(2) タイマーを設定するには、本体右横の  を押します。タイマーを設定したことがある場合は直前に設定した時間と点灯状態(アイコン)がLCD表示部に表示されます。

• LCD表示部が《薄暗い》または《真っ暗》な状態のときは、本体右横の  または  を1度押してLCD表示部を《明るい》状態にしてから設定してください。


(3)  を押して設定したい項目(LCD表示部の点灯設定または時間)を選択します。連続して押すと、項目は「LCD表示部の点灯設定」「時」「分」「秒」「LCD表示部の点灯設定」…の順に移動します。

(4) 項目を選択してから、 (進む)または  (戻る)を押して設定します。


• LCD表示部の点灯設定ではオン()と、オフ(節電モード：)の切替えができます。


• 9時間59分59秒まで設定可能です。

• タイマー設定中に  を2秒以上長押しすると、タイマー時間と点灯設定を初期設定(0:00:00、点灯設定：オン)にすることができます。

(4)  を押してタイマー設定を終了します。

### ■ タイマーを使う

(1) タイマーを使うには、本体右横の  を押します。タイマー時間が設定されているときはカウントダウンを開始します。タイマー時間が設定されていないときはカウントアップを開始します。



2) タイマー作動中に  を押すと計測を一時停止できます。もう一度押すと計測を再開します。

• タイマー時間の計測開始、一時停止と再開に約0.5秒ずつ2回振動します。

• カウントアップのみ使用することもできます。

• カウントダウン時間が0:00:00になると自動的にカウントアップを開始します。

• カウントアップのときはLCD表示部に▲アイコン、カウントダウンのときは▼アイコンが表示されます。

• タイマー作動中または一時停止中に  を2秒以上長押しするとタイマーはリセットされ、直前に設定した時間とLCD表示部の点灯設定が表示されます。計測を開始するには、本体右横の  を押します。

## バイブレーションアラート

カウントダウン中に、時間がくると振動してお知らせします。プレゼンテーションの時間配分などに便利です。(音は鳴りません。)

■ タイマーを作動させると自動的にバイブレーション機能がオンになります。バイブレーションアラートの時間は、設定したタイマーの時間によって決まります。

■ LCD表示部の表示が《薄暗い》または《真っ暗》状態のときにバイブレーションアラートの時間がくるとLCD表示部のバックライトが点灯し《明るい》状態になります。

○：毎回0.5秒振動します / ●：毎回1.5秒振動します / ×：振動しません



	タイマー設定時間	5分01秒以上	5分0秒～1分01秒	1分0秒～0分01秒
バイブレーション				
残り5分	1回振動	○	×	×
残り1分	2回振動	○	○	×
残り0分(終了)	3回振動	●	●	●

## LCD表示部の明るさ

本機のLCD表示部の明るさには3種類があります。明るい順からそれぞれのタイマー時間やアイコンの見え方は下のようになります。

《明るい》：よく見える  
《薄暗い》：うっすら見える  
《真っ暗》：見えない

• 電池の消耗を防ぐため、キーやスイッチの操作が約20秒ないと自動的にLCD表示部は《薄暗い》状態になります。タイマーが作動していないときは《薄暗い》状態では接続の状態とバッテリーインジケーターアイコンのみを表示し、更に約20秒経過すると《真っ暗》になります。



• 《薄暗い》または《真っ暗》な状態でLCD表示部を点灯させたいときは、本体右横の  または  を1度押してください。


## 故障かな?と思ったら

本機がパソコンと接続できない、または正しく機能しない場合は下の事項を確認してください。

• 電池の極性(+、-の方向)を確認してください。  
• お使いのパソコンが動作環境条件を満たしているか確認してください。  
• USBレシーバーがパソコンのUSBポートに正しく差し込まれているか確認してください。

• パソコンと本機の間に障害物がある場合は取り除いてください。

• 接続確立後にLCD表示部の表示が消えた場合は、 または  を押してバッテリーアイコンの目盛りを確認してください。

• バッテリーアイコンの目盛りがないとき()は電池を交換してください。

• 電磁干渉や静電気放電により表示部に誤動作が起きる場合があります。その場合は、電源/プレゼンターモードスイッチをOFFにして本機の電源を切り、再度電源を入れてください。

• 本機のUSBレシーバーをノートパソコンに接続した場合、お使いのノートパソコンによって下記のようなメッセージが表示され、タッチパッド機能が無効になることがあります。タッチパッド機能を有効にしたい場合は、お使いのノートパソコンのタッチパッド設定を確認してください。

※お使いのパソコンによって表示/設定方法が異なる場合があります。



## 商標、ライセンスについて

• Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

• Macintosh、Mac、OS X、macOS、Keynote は、米国および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。

• その他の会社名および製品、サービス名は、それぞれを表示するだけに引用されており、それぞれの各社の登録商標または商標である場合があります。

【抗菌対応】  
SIAA マークは、ISO22196 法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

SIAA ISO22196 for KOHKIN	「PR110-RC」 無機系抗菌剤 練込：上下ケース・キー JP0122123A0009V	「PR11-GC」 無機系抗菌剤 練込：下ケース・キー 塗装加工：上ケース JP0122123A0010N